

ゲレシャ島の世界観

大島【おおしま】

東にある大きな島。ほとんどが凧国になってしまったが、自治区はそれぞれ独立しており、内乱もほとんど起きてないらしい。海外のことだからよくわからない。

凧国【りんこく】

凧国は、ゲレシャ島をはさんで、ザダルカナン半島の東に広がる大島を統一した大国である。衣装は貫頭衣にズボンをつけたアオザイや、着物などエスニックなものが多い。パール王国よりも米を中心に食べる食生活が多く、竜狩りに辟易した龍人はほとんど凧国に渡ってしまったと言われている。

パール王国と凧国の関係はここ 1000 年以上ずっと良好である。互いの国の交易品を売ることでお互いの国が潤っている模様。

オロナリア大陸

パール王国が面積の半分を占めている、世界で一番大きな大陸。オロナリア大陸と、ゲレシャ島、大島がほとんどの面積を占めている。

四季はわかれていて、雨季もあれば、雪も降る。広大な大地のため、肥沃な土地とそうでない土地との落差が激しい。法律と基準を一つにまとめているため、地方から若干どころでない不満を国王は耳にしていると聞く。

西の果てには諸外国があるが、ほとんどオロナリア大陸の東半分はパール王国が統一している。

パール王国

世界共通語は元々はパール王国の言語をもとにつくられたと言われている。そのくらい過去からずっと力を持ち続けた巨大な富国だが、魔王に喧嘩をふっかけたり、ゲレシャ島のマロの宮殿の呪いを開放してしまったりかなりどころでない、おっちょこちょいなこともする国である。

諸外国

パール王国の統一を拒否した西の諸外国。世界共通語以外の言葉を母国語にしており、世界共通語も通じるが、母国語に誇りをもっているため、仕事以外では使わない様子。

それぞれの国が小さいなりに自給率をもっているため、現在は争いはしていないものの、魔物と恐獣が少ない分、人間同士の問題がかなりピックアップされる。

恐獣対策も進んでいないため、ゲレシャ島のように冒険者や対恐獣の戦闘職業がほとんどない。魔物や恐獣が出たときは大混乱になるという。

ザダルカナン半島とゲレシャ島

パール王国の首都バルメッコがあるのはザダルカナン半島。そしてそのやや東にあるのがゲレシャ島と呼ばれるめちゃくちゃ大きな島がゲレシャ島である。

凜国とパール王国の交易の交点でもあり、ゲレシャ島は魔物と恐獣がやたら多いことを除けばとても豊かな土地であるため、パール王国は凜国との情勢よりも、ゲレシャ島の独立のほうを危惧している。

教会と聖北教会

教会

この世界を見守るために降臨した女神を信仰しているのは教会と呼ばれている。

女神は天啓を下ろし、その天啓をまとめたものを一冊の本にまとめて智慧の本としたものをお手本とし、生活態度を見直すかんじの、宗教。

教会には聖術と呼ばれる奇跡があり、これは信仰を持つものがロザリオを持つことで発揮されるといわれている。回復魔法を使用したいがためにロザリオを盗む人、あるいは入信する人もいるが、信仰心そのものがない状態でロザリオに触れても、回復魔法はあまり効力を発揮しないという。

聖北教会

教会と同じ本をつかっているものの、教会と違って、邪悪を定めているのが聖北教会のほう。邪悪なものを根絶しなければとは思っていないが、邪悪に対して対抗をしないことは正しい姿でも、平和主義でもないと言う、やや過激なところがある教会。

そのため、回復魔法以外にも退魔の聖術も認識されており、退けることは信仰の邪魔にならないと定められている。

女神信仰以外の信仰

精霊信仰

自然が我々を生かしてくれているのだから、自然やそれを維持するためにいる精霊に敬意を払わねばならないという信仰。

自然保護をうたっている信者もいるが、トップのほうは自然は人間によって保護しなければならないほど弱くはない。畏敬の念をもって接するべきであって嘗めてかかるなよという感じらしい。

女神のことを信じていない人でも精霊に感謝する人は多い。

邪信仰

邪悪な神様というのは定義されていない。女神一人しか神はいないとされている。

邪信仰はズィベットやイフリータのような力のある種族をありがたがり、彼らを神に匹敵すると勘違いさせる人々のことを一括りにして言っている。

また人々に危害を加えかねない邪な欲望や、生贄などの習慣は邪悪とされており、邪悪なものを実際に行う人々・魔物を邪なものを信仰している――邪信仰と定めてもいる。

パール王国

王政

パール王国は血統による王政がずっと続いている。このため国王となるものは、パール王家の血を必ず継いでいる。

今のところ愚かな王は一人しかいなかったとされている。それはゲレシャ島のマロの宮殿から魔物を世界中に解き放ってしまったグラン王。

それまで何世代か王の名前は継承されていたが、グラン王の代では、グラン王没後、息子はグランの名を継承したがらず、別の王の名前を名乗った。

メンヒ王

世界共通語をつくったメンヒ王一世から数えて現在メンヒ王 21 世がパール王国の国王である。メンヒ王 20 世は引退したものの元気なため、若い国王は頼りなさからか、前の王様のほうがよかったなどと生意気な口を国民が平気で叩くのを聞いている。

気の弱い王様ではあるが、性格は狭量ではないため、国民の悪口や不平に怒り狂うことはあまりないようだ。リーダーシップには向いてないため、今が平和な時代でよかったねと言われている。本人もそう思ってる様子。

王都バルメッコ

メンヒ王 21 世の住む王の都がバルメッコ。海辺にあるためバルメッコ港が一番発展している。パール王国からゲレシャ島に渡るときはたいていバルメッコを経由しなければならない。

ゲレシャ島

気候

四季はわかれている。春は花が多く咲き、夏は晴れが多く、秋はみのり豊かで、冬は雪が少しだけ降る。雨季は夏の手前、7月にあたる母蟹月にくる。気温の変動は激しくはないので、氷の魔法で部屋を冷やす必要などは特にならない。冬がやや寒い日が多いので、暖炉のほうが必要なことが多い。

島の広さ

小さな国が3つ4つはってしまうほどの大きさがある島なのだが、国王がいないことと、大陸と呼ぶにはやや小さすぎるという理由で、島と呼ばれている。

集落ごとの移動距離

集落から集落への移動時間は、二日～三日でだいたい隣の集落にたどり着くことが可能だと言われているが、遠方に行く場合や、急いでいる場合、荷物が多い場合などは馬や馬車で移動するため、移動時間は半分くらいに短縮される。

また、噂によると古代魔術や魔具の中には空間をダイレクトに飛ばして移動する方法などもあるらしく、目的地へ現在地から一気に移動することも可能らしい。当然、知っている人は少なく、手段を持っている人はかなり少ない。

また、その古代魔術による暗殺などを危惧して、重要な場所や、国超えは出来ないように結界がはられている。

それを知らずにゲレシャ島からパール王国や凜国にテレポートしようとする、結界に弾かれ、どこかゲレシャ島の不特定な場所へと飛ばされる。必ず陸地や安全な場所とは限らないため、古代魔術や魔具の使用は気をつけるようにと……注意する人がいつもいるとも限らない。

※移動は安全を期して、馬か徒歩を推奨します。

移動手段

魔具・古代魔術によるテレポート……最速

龍人の飛行や、飛行動物による移動……1/4

馬や馬車での移動……1/2

徒歩での移動……1

魔物が減りすぎるとドロップアイテムが手に入らなくなるので景観を壊してはいけないと法律で決まっています、

街は石畳でもいいが、道路は新しくつくってはいけない。

ゲレシャ島の人口

総人口は不明。ダストシューターで無尽蔵に増えているため、また、賊などの住民登録はないため、把握しかねる。

5軒の家が集まれば集落、10～20軒で村、200軒までで街、それ以上は大規模な街。主要な行政が集まるところを首都と定めているため、エスタニーツェは首都と呼ばれている。人口は10000世帯を越えているという。

通貨単位・貨幣



ゲレシャ金粒

冒険者が多く、貨幣を数えるのが大変で、なおかつ重たいものをもって移動したくないという理由から、粒の重さで取り引きをすることになった。

ゲレシャ金貨

ゲレシャ金粒 1000 くらいでゲレシャ金貨 1 枚相当。

パール貨幣

ゲレシャ金粒 5000 粒でパール貨幣の金貨 1 枚に相当。

ゲレシャ金粒 100 粒でパール貨幣の銀貨 1 枚に相当。

ゲレシャ金粒 1 に対してパール貨幣の銅貨 10 枚にあたる。つまりゲレシャ金粒 10 粒の場合は、パール銅貨 100 枚。

凧貨幣（ゼニ）

ゲレシャ金粒と凧国のゼニは相場がいくらなのか不明。凧の民はゲレシャ金粒で取り引きを行うが、凧国に行くとゲレシャ金粒をすぐに自国のゼニに換金するらしい。しかし一体

どのくらいでそのくらいのゼニになるのか、正規非正規、その時の貨幣の変動率などによりかなり価値が揺らぐらしい。

相場

ゲレシャ金粒で基本ゲレシャ島は対応する。金貨をいきなりもっていても、民間では使うことができない（おつりがない）

飲み物は普通のものならば1粒で1瓶。

三食お腹がすかない程度に食べるためには9粒+飲み物代として1粒。一食3粒。

10粒~15粒で一日いい暮らしができる。

宿代は最低限ボロ家で素泊まりで、10粒。普通の宿の場合は30粒。いい宿の場合は50粒。

薬草の取り引きは、20粒~売り買いできる。

ポーションなどの冒険必需薬品は100粒~

風邪薬や普通の病気のための薬は50粒+調合手数料。高い薬はどこまでも高い。

魔具は1000粒あるいはゲレシャ金貨で取り引き。

武器は200粒くらいから安いものはある。防具もそれくらいからある。

下着や服の着替えはセンスを問わなければ一式20粒くらいからある。

エレメント石

火、水、土、風、雷、氷、命、時、光、闇、木、気、鉱、無の14種類のエレメント石がある。精霊が閉じ込められた石を一般的にこう呼ぶ。

水道設備やコンロ、ランプなどに利用されている。

水道下水設備

大抵の場所にはすでに水道下水が完備されている。一部井戸の場所もあるが、そういうところは水道設備を整える予算がないか、水道設備を維持することができない理由がある場合が多い。

水のエレメント石を使って水を湧かしたり浄化したり、下水は無のエレメント石を使って行ったりしている。トイレの中には無のエレメント石が仕込んであることがほとんど。ゆえに、トイレに落ちるのは危険。

下水道の完備にはかなり時間がかかった。

トイレやお風呂は下水管をとって地下の下水水路に流れ込み、下水道のタンクに流れていく。

下水タンクには大きな浄化エレメント石が置いてあり、定期的にそのメンテナンスが行われている。

定期メンテナンスは魔物が出る地下水路を歩くため、冒険者と技師がタッグを組むか、委託される。

冷蔵庫やコンロ

コンロは火のエレメント石と着火剤によって使うことができる。冷蔵庫は氷のエレメント石によって冷えている状態になっている。

暖炉・井戸

暖炉は火のエレメント石を使ってる場合と、光のエレメント石を使ってる場合と、本物の火を使ってる場合がある。

井戸は、湧き水を引っ張ってる場合と、共用の井戸に大きなエレメント石を使ってある場合がある。

風呂・トイレ

火と水のエレメント石を上手に調節するマシンによって、お湯が簡単につくれるようになったのが近年画期的だと言われている。

トイレは水のエレメント石と下水を処理する無のエレメント石を使っている。トイレによってこの無のエレメント石の処理のスピードが違い、構わず流し続けると逆流してあふれてしまうなんて問題が発生したり、逆に無のエレメントの効力を強めることで、中に落ちたものが拾う前に無へ消えてしまうなんてこともあったりする。貴重なものはトイレに

持ち込まないようにしようと言っても置き引きが心配だ。

流通・交易

大島・凜国との交易はおもにゲレシャ島を経由して行っているものが現在は多い。
交換通貨は基本ゲレシャ金粒。

エレメント石の産地はゲレシャ島以外にもある。

スパイスは輸入品。ハーブはゲレシャ島でも本島でも栽培している。

恐獣を倒すと手に入るドロップアイテムが錬金術や薬の材料として使われるのだが、海外ではゲレシャ島ほど手に入りづらいので、ここで交易品として売りさばいている。
それをとってくるのが冒険者。

本島との情勢・パール王国

ゲレシャほど魔物は出ない。

ゲレシャは魔物がでる危険地帯と言われていて、そこに行くのは一発当ててやるという冒険者か、それを客にしている人々（商人・宿屋・武器屋など）とその家族くらいしかいないんじゃないかと言われている。

色々な移民がゲレシャのほうが多く、一種の自治体みたいになっている。

本島の王様はゲレシャ島の領主様と仲がよい。

海外との情勢・隣国

戦争はよそ事みたいなかんじ。隣国との外交は良好。

凜国と仲が良かったため、東洋の製品が手に入りやすい。

曜日・暦など

一週間はルナ、サラマンダー、オンディーヌ、ドレイク、セイレーン、トロール、サンの7日。

28日サイクルで1ヶ月。12ヶ月で1年。

精霊

自然のバランスを保つために増えるもの。

自然が崩れだすと勝手に増えてバランスをとる。

エレメント石の中には精霊を封じることになっている。

精霊は動物のように感情があるわけではなく、プランクトンのようなもの。

魔物

ゲレシャ島のどこかにあると言われる魔物の発動体から生まれてきている？

多種族入り交じるゲレシャ島

種族間のハーフに生まれた子供たち

ハーフエルフ、ハーフドワーフ、ハーフなんたらまではできるが、そこから先は増えない。基本異種族で好きになりあうことはあまりない。同じ種族で愛し合うことが多い。

差別

偏見は表面上は特になしとは言われている。

魔物は獲物として扱われる。

魔王領事館

魔物の行き来の人数を制御したのが魔王さま。

言語

世界共通語

世界で一般的に使われている言葉。

ゲレシャ方言

ゲレシャでしか通じないローカル言語。共通語のようでやや違う。

魔物共通語

魔物同士が連絡を取り合うのに使っている言葉。人族にわからないように作られたとも言われている。

古代共通語

古代ムータン文明時代に使われていた言葉。

地底人語

地底人が使ってる言葉。古代共通語が派生しているため共通語とかなり違う。

魔術構成語

魔術を構成するための構文なのでやや独特。

古代魔術構成語

古代共通語をベースに魔術構成の構文をつくったもの。

冒険者ギルドシステム

もともとはドロップアイテムを手に入れるために密猟者みたいな人たちが増えてきたのが、冒険者と名乗りだした。

冒険者が多すぎて、仕事にならない割に合わないシステムになりつつある。

冒険者は危険な仕事をやる何でも屋みたいな立ち位置になりだしている。

魔術師協会

発掘をしていると、あまりに危険な太古のアイテムやドロップアイテムが手に入ることもある。

その管理を任せられ、研究を委託されているのが魔術師協会である。

魔術師協会にある一定の水準をこえたアイテムは没収されるらしい。

印術

特殊な絵の具みたいなので、文字を書き込むことによって発動する魔術。誰でも使えるが、とても高い。

理由は、高くしておかないと色々な文字を書き込む人がでてきて、悪事に使われやすくなるから。

あと文字を書き込みすぎると身体に変調が現れる。

魔術

発掘をしていると、あまりに危険な太古のアイテムやドロップアイテムが手に入ることもある。

その管理を任せられ、研究を委託されているのが魔術師協会である。

魔術師協会にある一定の水準をこえたアイテムは没収されるらしい。

聖北教会と聖術

聖北教会のロザリオに発動体が仕込まれている。

これは信仰をもった人にもみ渡される。正しい使い道をするとう誓うことで信仰者だけがもらえる。

ロザリオを盗んだりして回復魔法を使おうとした不屈き者もいるが、どうしてもか信仰心のない者がロザリオをもっているても回復魔法が使えないらしい。

誓いと発動体であるロザリオの関係性はまだ解明されていない。

ムータン文明と魔具

エレメント石の普及によって電気社会と似たような文明を誇っているが、自然を保護するために、景観を壊すようなことや、一定の水準を超えた道具は限られた区画でのみ使用することになっている。

ムータン文明と古代魔術

錬金術と薬学

盗賊ギルド

警備隊システム

警備隊は治安維持のための領地が雇った傭兵集団。

領主様は騎士団を抱えてることもある。

警備隊と騎士団だと、騎士団のほうが立場が強い。

警備隊は治安維持のための見回りと逮捕だけが仕事。

騎士団は事件の調査などもできるらしい。国をまたいで移動する騎士団もあるらしい。

(FBI か…)

治安

警備隊は治安維持のための領地が雇った傭兵集団。

領主様は騎士団を抱えてることもある。

警備隊と騎士団だと、騎士団のほうが立場が強い。

警備隊は治安維持のための見回りと逮捕だけが仕事。

騎士団は事件の調査などもできるらしい。国をまたいで移動する騎士団もあるらしい。

(FBI か…)

食文化

塩はぎょーさんとれる

砂糖は砂糖のとれる植物〇〇を栽培している。

イーストやベーキングパウダーはある。

発酵食品は本島が栽培した菌を売ってもらってる。

チーズやヨーグルト以外にも、味噌や醤油もある。

フルーツは輸入品がほとんど。

肉が中心でパン食生活。

パンははちみつとナッツ類やドライフルーツをつめた黒いパンとやわらかめの白いパンがある。

魚は内陸ではヒモノにするか、冷凍品なので鮮度が落ちている。

缶詰瓶詰文化は海外から伝わってきたが、今は島の内陸では大事な保存食をつくる文化。

保存食は基本干す、燻製、グラノーラみたいに固める。

ゲレシャの文明や文化

建築物

壁はレンガ。床は石、草、土。

古代人たちが砂漠みたいな土地で緑化活動をしたら、みんな自然に身体がついていかなくなつて滅んだ。引きこもつた人たちが地底人。しかし3世代くらいでそれも自動的に滅んだ。

そのあと古代人の中で生き残つた人々は、文明が滅んだために原始的な暮らしをするはめになり、それがテントとかの文化。

街・村の人々の暮らし

朝6時起き～夜10時就寝

三食食べるのはデフォ

パブは12時くらいまでやっているが

それ以外の店は8時には完璧閉まっている。

普通の店は5～6時には店じまい。日が沈んだら店じまい。

祝日以外は店は基本交代で店番をしている。

店番は基本、4時間働いたら、交代。

畑は3時間交代制。

祝日は別の店が露店が出てきたりする。

天動説・星座など

世界は基本天動説を支持している。

世界はリージョンが点在していて、宇宙全体で星が公転している。

リージョンの端っこから先はリージョンの逆側に出てくる。どういう仕組みはよくわからない。

祝日・祭り

クリスマスにあたる結晶の日

ハロウィンにあたるのがマスカレードナイト

秋の感謝祭

春のごちそう祭り

夏の水に感謝する日、精霊祭

サンの日、神々の憩う日。日曜日。

ルナの夜から始まり朝のサンで終わる。

夏至祭、冬至祭、雪祭り、聖誕祭、花祭り、感謝祭、舞踏会、

ビール祭り、日食の祝祭、ワインフェスティバル、ごちそうカーニバル、音楽祭、ランタン
デー、ろうそくフェスタ、日没デー、肉祭り
新月のごちそう祭り、おさかなの日、建国記念日、収穫祭